

# 石川町教育委員会の点検・評価報告書 (令和元年度施策・事業)



鈴木家主屋 (鈴木重謙屋敷)

令和2年9月  
石川町教育委員会

目次

I	教育委員会の点検・評価制度について	1
II	点検・評価の実施経過及び予定	2
III	学識経験者による意見	2
IV	評価区分	2
V	点検・評価表について	3
VI	点検・評価項目及び点検・評価表	4
VII	石川町教育委員会評価委員会の意見	21
VIII	資料	25
	石川町教育委員会評価委員会設置要綱	
	関係法令	
	石川町教育委員会の点検・評価（令和元年度施策・事業）について	
	「ご意見をお寄せください」	

## I 教育委員会の点検・評価制度について

### 1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）では、効率的で効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検・評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されています。

### 2 目的

効率的で効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

### 3 点検・評価の方法

- ① 石川町教育委員会重点施策に掲げた施策体系を基に、教育委員会事務局各係等の懸案事項など、主要な施策・事業（令和元年度は重点施策のうちから16項目）を抽出整理し、点検・評価項目とします。
- ② 各係等において、施策・事業の目標に対し、可能な限りの定量評価を実施し、点検・評価表を整理します。
- ③ 学識経験者から、点検・評価表に係る意見を聴取した上で、教育委員会において点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成します。
- ④ 点検・結果報告書を議会に提出するとともに、町ホームページに掲載し公表します。

### 4 点検・評価の流れ

点検・評価結果を踏まえ、各事業の取組内容の改善を図りながら、効率的で効果的な教育行政の推進に努めていくこととします。

Plan（立案）：教育行政に関する各種計画の策定

Do（実行）：計画に基づいた業務の遂行

Check（評価）：点検・評価の実施、学識経験者の意見聴取

Action（改善）：議会への報告・町民への公表 → 改善・見直しの検討

## II 点検・評価の実施経過及び予定

年 月	会 議 等	内 容
2年6月～7月	作成作業	点検・評価表（自己評価）の作成作業
2年8月	評価委員会	令和元年度点検・評価表に係る意見聴取
2年9月	教育委員会	点検・評価報告書の作成
2年9月	町 議 会	点検・評価報告書の提出
2年10月	公 表	町ホームページへの掲載

## III 学識経験者による意見

点検・評価にあたっては、その客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する方6名を「石川町教育委員会評価委員会委員」に委嘱し、委員会開催による協議を行うとともに、各委員からいただいた意見書を集約しました。

これらの意見等を踏まえながら、教育委員会事務事業の改善に努めてまいります。

### 石川町教育委員会評価委員会委員

役 職	氏 名	備 考
委員長	迎 茂 城	石川町社会教育委員長
委 員	郷 美 枝子	石川町社会教育委員
委 員	深谷 洋一郎	石川町社会教育委員
委 員	菅野 智子	石川町社会教育委員
委 員	鈴木 征博	石川町社会教育委員
委 員	曲山 ちあき	石川町社会教育委員

## IV 評価区分

各施策・事業の評価は、目標に対する達成度を基本としつつ、有効性、改善点等を総合的に判断してA（順調）、B（やや順調）、C（努力を要する）の3段階で評価しています。

### 【評価区分】

- |  |
|--|
| <p>A 順 調 : 目標どおり又はそれ以上に達成している(達成度95%以上)</p> <p>B や や 順 調 : 概ね目標どおり達成している(達成度80%以上)</p> <p>C 努力を要する : 目標を達成していない(達成度80%未満)</p> <p>※ 目標値を設定していない場合は、施策等の進捗状況などを総合的に判断して評価しました。</p> |
|--|

## V 点検・評価表について

<b>大項目・中項目</b>	
令和元年度石川町教育委員会重点施策に掲げる体系を基に、該当する施策体系の大項目及び中項目を記載します。	
<b>担当係等</b>	
令和2年度の担当係等を記載します。	
<b>事業名</b>	
令和元年度石川町教育委員会重点施策に掲げる施策体系を基に、教育委員会事務局各係等の主要な事業を抽出したものです。	
<b>事業の目標と見込まれる成果</b>	
点検・評価項目について、設定した目標、その意図などを記載します。 また、当初に計画した数値目標等があれば記載します。	
<b>実施内容</b>	
令和元年度にどのような内容で実施したのかを記載します。	
<b>事業費（財源内訳）</b>	
令和元年度の事業費及び財源内訳を記載します。	
<b>達成状況</b>	
設定した目標に対する達成状況を記載します。	
<b>事業の評価</b>	
事業目標に対する達成状況を踏まえ、事業の有効性、必要性、効率性の観点から評価します。	
<b>評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針</b>	
評価や評価委員会の意見を踏まえ、今後の課題等について記載するとともに、改善に向けた方向性を記載します。	

VI 点検・評価項目及び点検・評価表

No.	点検・評価項目	担当係
1	教育委員会活動	学校管理係
2	通学援助事業	同
3	学校施設・学習環境整備事業	同
4	石川中学校調理場建設事業	同
5	学力向上推進事業	同
6	幼保小中間交流学習事業、いしかわふるさと教育事業	同
7	学習環境の整備充実、ICT機器の活用	同
8	英語教育の推進	同
9	学校給食費補助事業	同
10	図書館管理運営事業	公民館
11	放課後子ども教室事業	生涯学習係
12	生涯学習推進事業、社会教育推進事業	同
13	埋蔵文化財出前体験学習事業	文化振興係
14	スポーツ振興事業	スポーツ振興係
15	社会体育施設の維持・管理	同
16	歴史民俗資料館運営事業	歴史民俗資料館

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	その他
中項目	その他

	担当係等	学校管理係
--	------	-------

事業名	教育委員会活動																	
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定する教育委員会の所掌事務について、定例会及び臨時の教育委員会を開催・審議し、その結果に基づき適正な執行に努める。 学校や教育施設の訪問、教育懇談会等での意見交換を通し、施設の実態や保護者等の意見の把握に努め、教育行政に反映させる。 総合教育会議では、町長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、教育課題等の共有に努める。																	
実施内容【Do】	①教育委員会会議の開催及び教育行政の管理執行 ②学校及び教育機関の訪問・視察 ③各種教育関係研修会への参加 ④総合教育会議への出席																	
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
	1,151					1,151												
達成状況	①会議の開催状況及び議案等の審議件数 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">会議開催状況</th> <th>審議事項</th> <th>報告事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">定例会</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">21件</td> <td style="text-align: center;">47件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">臨時会</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> </tbody> </table> ②学校及び教育機関の訪問・視察 ・自由民権史跡 鈴木家主屋(4月6日 施設視察) ・野木沢小学校(7月2日) 石川小学校(11月5日) 授業視察、施設視察 ③各種教育関係研修会への参加 ・市町村教育委員会連絡協議会石川支会総会・研修会(7月20日 古殿町) ・東北六縣市町村教育委員会・教育長研修会(7月12・13日 山形県) ・市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会(8月28日 福島市) ④総合教育会議への出席(3月1日 教育大綱について 等)						会議開催状況		審議事項	報告事項	定例会	12回	21件	47件	臨時会	1回	1件	0件
会議開催状況		審議事項	報告事項															
定例会	12回	21件	47件															
臨時会	1回	1件	0件															
事業の評価【Check】																		
区分		評価及び説明・考察																
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価  <b>B</b>	・教育委員会の所掌する事務については、定例会及び臨時会において速やかに審議することができた。 ・学校及び教育機関訪問時に、現場の声を聞く機会の拡充を図る必要がある。															
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	教育委員会は教育行政の重要施策について審議・執行するため、地方公共団体の長から独立した行政機関として組織されているものであり、今後も住民の教育ニーズに応じていく必要がある。															
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	・定例会だけでなく、必要に応じ臨時会を開催し、速やかな議案審議に努めているほか、事務事業については、評価委員会の意見なども踏まえ改善を図っている。 ・教育委員会活動状況を町ホームページに掲載し、住民理解の向上に努めている。															
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		教育委員会活動をより充実させるため、学校をはじめとした教育施設訪問や保護者等との意見交換などを活性化させ、施策に反映させていきたい。																

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	⑥ 施設設備・学習環境の整備充実

担当係等	学校管理係
------	-------

事業名	通学援助事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	通学専用バスの運行や路線バスの活用により、登下校に係る児童生徒の安全確保並びに保護者負担の軽減を図る。					
実施内容【Do】	通学距離が石川小学校3km以上、石川中学校4km以上の児童生徒の登下校に対し、通学バスの運行及び路線バスの活用を図った。					
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	96,355	21,982				74,373
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学専用バス(7路線 285人) 87,392千円 母畑方面、中田・母畑方面、南山形方面、山形方面、赤羽方面、沢田方面、野木沢方面</li> <li>・路線バス(4路線 128人) 5,331千円 鳥内橋線、竜崎線、仁田・竹貫田線、名花線</li> </ul>					

### 令和2年8月 バス運行予定一覧

【基本】1便目15:10 2便目16:40 3便目18:30 ※週に1日の割合で1便目に14:20が入り、計4便で運行

利用 号車	登 校							下 校				
	専用バス				路線バス			専用バス			路線バス	
	1	2~4	5・6	7	鳥内橋	竜崎	中谷	1~4	5・6	7(中学生)	中谷	
/ /								1 便	15:10	15:10	/ /	15:29
	7:15	7:10	7:10	7:15	7:19	7:33	7:29 7:39	2 便	16:40	16:40	16:40	16:39
								3 便	18:30	18:30	18:30	18:49
								4 便	.	.	.	.

### 事業の評価【Check】

区分	評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川小・中学校及びバス事業者と連携を図り、基本的な運行のほかに学校行事等に合わせた運行を行うなど、児童生徒の安全な通学手段の確保に努めた。</li> <li>・通学バス検討委員会等を通じた、運行ルート等のニーズ把握に努める必要がある。</li> </ul>		
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	児童生徒の安全な通学手段を確保することや、通学に係る保護者負担の軽減を図ることは必要である。		
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金を確保し、町負担の軽減を図っている。</li> <li>・小・中学校と連携を密にし、学校行事等に伴う便数の増減に適宜対応している。</li> </ul>		
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】	児童生徒の登下校の安全を確保していくことはもちろんのこと、児童生徒の所在等に的確に対応していく必要があるが、令和2年度で現行の通学支援に対する国からの補助事業が終了するため、運行体制やコース等の見直しを行いながら、事業費の抑制を図っていくことも必要である。				



## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	⑥ 施設設備・学習環境の整備充実

	担当係等	学校管理係
--	------	-------

<b>事業名</b>	学校施設・学習環境整備事業																																																																																									
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	児童生徒が安全な学校生活を送るための施設整備に努めるとともに、計画的な改修を進めながら施設の長寿命化を図る。																																																																																									
実施内容【Do】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽施設、設備等の修繕</li> <li>・近年の気温上昇対策としてのエアコン設置工事</li> <li>・老朽備品の更新 等</li> </ul>																																																																																									
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																				
	100,655	7,570		14,900	2,275	75,910																																																																																				
達成状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="6" style="text-align: left;"><b>小学校3施設の主な施設整備・事業費</b></td> <td style="text-align: right;">単位:千円</td> </tr> <tr> <td style="width: 80%;">野木沢小遊具修繕ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">2,017</td> </tr> <tr> <td>沢田小エアコン清掃業務ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">2,581</td> </tr> <tr> <td>エアコン設置工事</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">17,642</td> </tr> <tr> <td>旧野木沢幼稚園北側部解体工事ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">9,288</td> </tr> <tr> <td>石川小のり面復旧工事、沢田小昇降口脇側溝整備ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">4,948</td> </tr> <tr> <td>石川小クリスタルホール用ひな壇ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">2,133</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: left;"><b>中学校1施設の主な施設整備・事業費</b></td> <td style="text-align: right;">単位:千円</td> </tr> <tr> <td>受水槽給水管ヒーター線修繕ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">613</td> </tr> <tr> <td>法面復旧時重機借上、AED借上料ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">2,545</td> </tr> <tr> <td>エアコン設置工事、プール解体工事、特別支援教室改修工事ほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">29,450</td> </tr> <tr> <td>石川中折りたたみ椅子、プロジェクターほか</td> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">2,617</td> </tr> </table>						<b>小学校3施設の主な施設整備・事業費</b>						単位:千円	野木沢小遊具修繕ほか						2,017	沢田小エアコン清掃業務ほか						2,581	エアコン設置工事						17,642	旧野木沢幼稚園北側部解体工事ほか						9,288	石川小のり面復旧工事、沢田小昇降口脇側溝整備ほか						4,948	石川小クリスタルホール用ひな壇ほか						2,133	<b>中学校1施設の主な施設整備・事業費</b>						単位:千円	受水槽給水管ヒーター線修繕ほか						613	法面復旧時重機借上、AED借上料ほか						2,545	エアコン設置工事、プール解体工事、特別支援教室改修工事ほか						29,450	石川中折りたたみ椅子、プロジェクターほか						2,617
<b>小学校3施設の主な施設整備・事業費</b>						単位:千円																																																																																				
野木沢小遊具修繕ほか						2,017																																																																																				
沢田小エアコン清掃業務ほか						2,581																																																																																				
エアコン設置工事						17,642																																																																																				
旧野木沢幼稚園北側部解体工事ほか						9,288																																																																																				
石川小のり面復旧工事、沢田小昇降口脇側溝整備ほか						4,948																																																																																				
石川小クリスタルホール用ひな壇ほか						2,133																																																																																				
<b>中学校1施設の主な施設整備・事業費</b>						単位:千円																																																																																				
受水槽給水管ヒーター線修繕ほか						613																																																																																				
法面復旧時重機借上、AED借上料ほか						2,545																																																																																				
エアコン設置工事、プール解体工事、特別支援教室改修工事ほか						29,450																																																																																				
石川中折りたたみ椅子、プロジェクターほか						2,617																																																																																				
<b>事業の評価【Check】</b>																																																																																										
区分		評価及び説明・考察																																																																																								
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別教室にエアコンを設置したことにより、夏期でも児童生徒に快適な学習環境を供することができた。</li> <li>・石川小学校側溝の堆砂除去を行い、降雨後のグラウンド状況の改善を図ることができた。</li> </ul>																																																																																							
		<b>A</b>																																																																																								
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は災害時の避難場所としても重要な役割を果たすものであり、近年の気象変化に伴う災害の増加傾向を考慮すると、避難施設としての計画的な施設整備が必要である。</li> <li>・教育内容・方法等の変化に伴う、多様な学習環境に適應できる施設整備が必要である。</li> </ul>																																																																																							
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	限られた予算の中、緊急性、必要性等を考慮しながら施設整備に努めている。																																																																																							
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		児童生徒が安全な学校生活を送ることができる施設を維持・管理するために、学校現場や教育委員会による定期的な点検を行うほか、防災拠点としての機能の充実や多様な学習環境に対応できる施設の計画的な整備が必要である。																																																																																								

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	⑥ 施設設備・学習環境の整備充実

		担当係等	学校管理係			
事業名	石川中学校調理場建設事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	学校給食衛生管理基準(ドライシステム、施設内諸室の明確な区分化等)に適合した調理場を建設し、より安全でおいしい学校給食を提供する。 令和元年度2学期からの供用開始を目指す。					
実施内容【Do】	石川中学校校舎東側敷地に調理場を建設する。 ・旧技術室棟の既設杭撤去等工事 ・地盤改良工事 ・水道管移設工事 ・調理場建設工事(平成30年度・令和元年度の2ヶ年事業) ・厨房機器購入( " )					
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	200,400	12,634		147,800		39,966
達成状況	石川中学校調理場建設に係る主な工事・工事費等 <span style="float: right;">単位:千円</span>					
	工事完了申請手数料					44
	完了申請に係る費用					
	工事監理、監督員業務委託料					7,161
	工事を円滑かつ不備なく実施するため工事の監理監督業務を委託。					
	調理場建設工事					118,787
	RC造平屋建て 延床面積316.9㎡					
	厨房機器購入及び消耗品					74,408
回転釜、洗浄機、パススルー冷蔵庫、揚物機等の購入。						
※調理場建設工事業費は前金払分。厨房機器購入は、平成30年度は支出なし。						
<b>事業の評価【Check】</b>						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	・2学期から新しい調理場で調理した給食の提供を開始できた。 ・運用開始後に結露や太陽光が眩しいなどの問題が発生した。			
		<b>B</b>				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	学校給食衛生管理基準に適合した調理場の整備は、より安全な学校給食を提供するうえで必要である。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	国庫補助金の確保や、償還の際に交付税措置がある地方債の借入れを行うなど、町負担の軽減を図っている。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		子どもたちに安全でおいしい給食を提供し続けられるように、完成した給食調理場を適切に維持管理していく。				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	③ 確かな学力の育成と教師の指導力の向上 ④ 地域に開かれた特色ある学校教育の推進

		担当係等	学校管理係				
<b>事業名</b>	<b>学力向上推進事業</b>						
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	教師の指導力の向上と石川町の児童生徒の学力の向上を目的に、学力向上に関わる各事業の充実に向けた会議及び研修会の開催・事業成果の分析等を通して、教員の指導力向上及び児童生徒の学力向上を図る。また、学力調査等の結果分析を通して、本町の児童生徒の学力や学習状況の明確化及び指導改善の方策について焦点化・共有化を図る。						
実施内容【Do】	1 学力向上推進会議(校長対象:年2回)・学力向上推進部会(研修主任等対象:年4回) 2 石川町教育ゼミナール(1日) 3 小中連携授業研究会(各2校:年2回) 4 石川小学校・石川中学校研究公開(各1日) 5 石川町「学習の手引き」「家庭学習の手引き」「『いしかわのじかん』宣言」配付・周知 6 標準学力調査(東京書籍)の実施・分析						
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1520					1520	
達成状況	1 推進会議・推進部会を通して、町の学力向上の方針と各学校の現職教育の連携を図った。 2 夏季休業中に「石川町教育ゼミナール」(教員研修会)を1日間実施し、町内外から79名の教員等が参加して授業力の向上を目指して研修を積んだ。 3 小中学校の連携授業研究会を4回、石川小学校・石川中学校の研究公開を実施し、学習内容の系統的な研究と学習スタイルの統一を図った。また、各学校での授業研修会は、一人1授業を基本に開催され、それぞれの事後研究会で成果や課題について協議した。 5 新入学児童全員に「学習の手引き」「家庭学習の手引き」を配付し、学校・家庭での学習スタイルについて周知するとともに、「いしかわのじかん」を通して、学校とPTAが協力して児童生徒の家庭学習や読書時間の増加を図った。 6 「全国学力・学習状況調査」「県学力調査」だけでなく、本町独自に「標準学力調査」を実施することで、児童生徒の学力の実態把握・指導法の改善を進めた。						
<b>事業の評価【Check】</b>							
区分		評価及び説明・考察					
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価 <b>B</b>	・会議・部会を通して、町内小中学校教員が集まり研修する場を充実させることで、「授業スタンダード」の考え方を基本とした授業実践を行い、教員の指導力の向上に取り組むことができた。 ・今後さらに児童生徒の学力の実態分析を進め、教員の指導力向上を図り、より学力を高めていく必要がある。				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	児童生徒の学力向上のための教師の指導力向上は、学校教育における最重要課題の一つである。そのための会議・部会の充実、教育ゼミナールの実施、年間を通じた授業研究会の継続的実施、学力テスト等の実施は、今後益々必要不可欠なものになると考える。				
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	教育ゼミナールについては、働き方改革の視点からも、開催時期・研修コマ数について検討する必要がある。				
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】	・「授業スタンダード」を基本とし、福島大学の教授を「石川町教育アドバイザー」として招聘し、教員の授業力の向上による、児童生徒の更なる学力向上を目指す。 ・ 学力向上推進部会において、小中連携授業研究会の他、各校における校内授業研究会への他校の教員の参加を促し、互いの授業を参観する場を確保する。 ・ 児童生徒の「学びの習慣」の確立のため、家庭学習との連携を図った実践を継続的に進めるため、各校の取組みを情報交換しながら工夫していきたい。						

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	① 豊かな人間性の育成 ③ 確かな学力の育成と教師の指導力の向上

		担当係等	学校管理係				
事業名	幼保小中間交流学習事業、いしかわふるさと教育事業						
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	児童生徒の人間関係づくりを行うことにより、人間関係による不安や幼保小間、小中間の進級に関する不安の解消を目的に、学校の枠を超えて人間関係づくり等の交流活動を通して、児童生徒に所属感・連帯感を味わわせ自己存在感を高める。また、特別支援教育協議会を通して、幼保小中間の進級に関する不安の解消及び適正な就学指導を図るとともに、学力向上推進事業との関連を通して、児童生徒の学力向上を推進する。						
実施内容【Do】	1 6年生合同交流会(いしかわコネクション)(年5回) 2 特別支援学級交流会(年2回) 3 「いしかわふるさと教育」(タブレットの活用)の推進 4 特別支援教育協議会(年2回)						
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	99					99	
達成状況	1 いしかわコネクションを通して、英国文化体験教室の充実を図ったり、中学校の教師による体育・数学等の学習を体験することで、中学校へ向けての期待を高めたりすることができた。また、保護者への説明会は、中学校生活について家庭と共通理解を図る場として有効だった。 2 特別支援学級交流会を通して、学校の枠を超えて通常学級の児童と交流活動をした他、物作り等をして、楽しく学習する充実した時間となった。また、教師も互いの指導について理解を深める場となった。 3 小学校社会科補助教材「わたしたちの石川町」を活用することで、地域理解の促進を図ることができた。契約期間の都合上、タブレットが使用できなかったため、教師用パソコンや紙媒体での資料活用となった。 4 幼児の保育・教育から義務教育にかけての特別支援教育の内容や就学の在り方について、関係機関と連携しながら、適正な就学を推進した。						
<b>事業の評価【Check】</b>							
区分		評価及び説明・考察					
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価	・いしかわコネクション・特別支援学級交流会等により、学校の枠を超えて児童生徒の交流が深まり、互いを大切にしながら交流できるようになってきている。 ・「わたしたちの石川町」(タブレット)の活用が図られた。今後さらに多くの学年で活用できるよう、内容・方法について検討を図る必要がある。 ・特別支援教育協議会により、町内各学校・各保育所・児童館・こども園に在籍している、個別の支援が必要な児童生徒に関する情報を共有することができ、さらに、石川支援学校・桜が丘学園の先生より助言をいただくことで、就学や進学に向けて連携した支援ができるようになってきた。				
		B					
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	学校の枠を超えた人間関係づくりは、幼保小中間の進級に関する不安を解消する上で重要であると考え。				
効率性	事業執行に当たって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	「わたしたちの石川町」については、タブレットの必要性及び活用頻度を踏まえて経費を検討していく。				
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		・児童生徒の自己存在感を高め、安心できる学校生活・家庭生活を送ることができるよう、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・関係機関等との連携を図りながら、教育相談体制・ケース会議の充実をさらに図る必要がある。 ・いしかわコネクションの内容について、目的を明確にして内容の検討を図る必要がある。					

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	③確かな学力の育成と教師の指導力の向上 ⑤情報化教育と国際理解教育の推進 ⑥施設設備・学習環境の整備充実

担当係等	学校管理係
------	-------

事業名	学習環境の整備充実、ICT機器の活用					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	小中学校の学習におけるICT環境を整備し、より学習効果を上げ、情報化教育を推進する。 また、ICT機器を積極的に活用していくことで、子供たちの情報活用能力を身に付けさせ高度情報化社会を主体的に生きていく力を育成する。					
実施内容【Do】	1 文部科学省で示されている教育のICT環境の整備方針の中で目標とされている学校のICT環境モデルの水準をベースに、学校に必要なICT環境を整備していく。 2 ICT機器のメリットを生かし、学習活動の充実のために積極的な活用を図る。					
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,563					15,563
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校全体でタブレット端末240台整備し、2クラスが同時に授業で活用できるようにした。</li> <li>・昨年度までに町立小中学校4校の教員用パソコン及び児童生徒用パソコン及びタブレットの整備更新が完了した。(文部科学省の示す児童生徒数の3分の1分)</li> <li>・日常的な授業でのコンピュータやタブレットの活用を進めた。</li> <li>・ICT機器の取扱いに関する研修を各学校毎に進めた。</li> </ul>					
<b>事業の評価【Check】</b>						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業等で複数クラスが同時に使用できるICT環境を整備できた。</li> <li>・パソコン更新を実施し安全な環境で安心してパソコンを活用することができる環境を整備できた。</li> <li>・学習内容に応じて、タブレットやデジタル教科書を活用する授業が多くなってきた。</li> <li>・先生によって活用状況に大きな差がある。</li> </ul>			
		<b>B</b>				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	新学習指導要領において「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」と明記されており、子どもたちが積極的にICT機器を活用し情報活用能力を身につけられる環境整備が必要である。 また、「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置付けられており、積極的にICTを活用することが求められている。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	国のGIGAスクール構想により、学校のICT環境整備が急速に進められていくが、このハード的な整備だけでは授業での活用は進まないため、活用が図れるようなソフト面での整備に加え、先生方に広く積極的に活用していただくためにICT支援員を配置し、授業の準備の支援や研修等ができる環境を整備していく必要がある。 環境を整備すれば維持していくことが必要となることから、無駄な整備にならないように計画的に整備更新を進めていく必要がある。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国のGIGAスクール構想に対応し、より活用を図るため学校のICT環境整備を進める。</li> <li>・令和3年度より統合型校務支援システムを導入予定であるため、導入に必要な環境整備や教員の研修等を計画的に実施していく必要がある。</li> <li>・授業におけるパソコンやタブレット端末の活用を促進できるように研修の場を設けていく。</li> </ul>				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3)学校教育の充実
中項目	⑤ 情報化教育と国際理解教育の推進

	担当係等	学校管理係
--	------	-------

事業名	英語教育の推進					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	小学校から中学校の9年間を見通した英語教育を推進し、児童の国際感覚を養うと共に中学生の英語の語学力を向上させる。					
実施内容【Do】	小学校、中学校を中心に英語指導助手を配置し、多様な教育活動を展開することで、国際社会の理解を深め、コミュニケーション能力の育成を図る。また、小学校における「英語教育」の充実のために、小学校教員による英語指導の研修機会の確保に努め、英語指導力の向上を図る。					
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,540				347	12,193
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導助手の効果的な活用を図った。 手派遣回数 石川小:171回、沢田小:41回、野木沢小:43回 石川中:118回、保育所等:26回</li> <li>・年間4回の国際理解推進会議では、小中学校教員が合同での授業研究会を実施したり、新指導要領の実施に向けた研修を行った。</li> <li>・国際理解教育(小学校1,2年)の年間指導計画により、平成25年度より各学年12時間の国際理解教育を実施している。</li> <li>・小学校6年生全員により一泊二日の「英国文化体験教室」をブリティッシュ・ヒルズで実施した。</li> </ul>					
<b>事業の評価【Check】</b>						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育年間指導計画を活用し、小学校の英語の学習内容の共通化が図られた。</li> <li>・英語指導助手の手作り教材や個別の授業プログラムにより、多くの児童生徒が英語に対する興味・関心を高め、興味深く活動する姿が多く見られたが、授業内容に関する教師との事前打合せの時間確保が十分ではなかった。</li> <li>・「英国文化体験教室」で英会話や英語を通じたゲーム、エチケット・マナーを学習することにより、外国語に対する理解を深め、同時に他校との交流を通して、児童の社会性や個性の伸長を図ることができた。</li> </ul>			
		<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり ・中学校の英語の学力が、全国・県と比較して低い状況や、国際化社会に対応できる人づくりを進めるため、英語教育による児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上は必要不可欠である。				
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 夏休み等、長期で学校が休みとなる期間における英語指導助手の有効な活用方法の検討				
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導助手と教師との事前の打合せの時間を確保し、十分に連携して授業を行っていく必要がある。</li> <li>・小中学校ともオールイングリッシュの授業の実施をさらに検討する必要がある。</li> </ul>				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(3) 学校教育の充実
中項目	⑥ 施設設備・学習環境の整備充実

	担当係等	学校管理係
--	------	-------

事業名	学校給食費補助事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	児童生徒の学校給食費の半額を補助し、子育て世代の保護者の経済的負担軽減を図る。					
実施内容【Do】	町の単独事業として、9月までの学校給食費等に未納が無く、町税等に滞納のない町内在住の町立小中学校児童生徒保護者に対して、給食費個人負担額の1/2分として10月からの半年分を補助する。					
事業費(財源内訳) ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,693					23,693
達成状況	・学校給食費補助事業により、給食費個人負担額の1/2の額として小学校631名分15,069,668円、中学校308人分8,622,400円 計23,692,068円の補助を行った。					

### 事業の評価【Check】

区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	・ 学校給食費を補助し保護者負担の軽減を図れた。			
		<b>A</b>				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	子育て支援施策の一環として、学校給食費補助による保護者の経済的負担軽減を図ることは必要である。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	学校給食費、町税等に係る未納の有無を確認したうえで補助を行っている。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		継続して学校給食費を補助し保護者負担軽減を図る。				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(1)生涯学習の推進
中項目	②図書利用環境の充実

		担当係等	公民館
<b>事業名</b>	図書館管理運営事業		
<b>事業の目標と見込まれる成果【Plan】</b>	住民のニーズに応じた図書館運営を図り、子どもから高齢者までの読書活動を推進する。さらに、図書館事業を通して、子どもの豊かな心を育み、生涯にわたり生きる力を養うことを目標とする。		
<b>実施内容【Do】</b>	(1) 図書の充実及び図書館利用の推進・・・新刊図書の購入、学習スペースの活用 (2) 子ども図書事業の推進・・・絵本の読み聞かせ定期開催 (3) 図書館見学 (4) スキッズひろば「親子クッキング」連携事業 (5) 「図書館だより」の発行・・・広報や町ホームページに掲載		
<b>事業費(財源内訳)</b> ※ 単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金
	16,350		3,000
			13,350
<b>達成状況</b>	① 図書館利用状況(開館日数291日 ★内田洋行業務委託) ・蔵書冊数 27,986冊(内訳:一般図書17,756冊 児童図書10,230冊) ・来館者数 32,345人 ・移動図書の活用 県立図書館「あづま号」年2回(1回につき約500冊借用) ・貸出冊数 19,232冊(内訳:一般書7,737冊 児童書11,495冊) ② 石川読み聞かせの会 月2回開催 参加人数86人 ③ 図書館事業 ・子ども図書事業「みんな おいでヨ たのしい絵本」10回開催(参加者数 111人) ・学校図書館訪問 沢田小へ2回、参加人数80人 ・図書館見学 石川小2年 参加人数108人 ・スキッズひろば「親子クッキング」連携事業 6回 参加人数78人 ・「図書館だより」の発行12回 広報いしかわ及び町HPに掲載。新刊図書のお知らせ等、情報発信を行った。		
<b>事業の評価【Check】</b>			
<b>区分</b>	<b>評価及び説明・考察</b>		
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>  <b>B</b>	・貸出・返却等の窓口業務や資料整備業務を的確かつ円滑に運営することで来館者が増えた。 (図書室利用者 R元.32,345人 H30. 6,330人 H29. 6,700人)
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	町民のニーズに応え、町立図書館を開館することができた。蔵書数の増加や学習スペースを設置したことで来館者数が増えた。
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	業務実績と専門性の高い民間に業務委託することにより、質の高いサービスの提供が得られているので削減の余地はない。
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】	町立図書館がオープンし、利用環境は整えられつつある。今後は、図書館事業の充実を図っていききたい。		



令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(2)社会教育の充実
中項目	② 青少年の健全育成

担当係等	生涯学習係
------	-------

事業名		放課後子ども教室事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】		地域の人の協力を得て、安全・安心な子どもの居場所づくりと様々な体験活動の機会を提供し、青少年の健やかな環境づくりを推進することを目的とする。 心豊かで健やかな子どもたちが地域の大人たちとのかかわりの中で育っていく。					
実施内容【Do】		沢田小と野木沢小の1年生から3年生を対象に、週2回程度、放課後の時間に読み聞かせ、軽スポーツ、料理教室、お茶会、ペットボトルロケット飛ばし等、多彩なメニューで体験活動の機会を提供した。					
事業費(財源内訳) ※単位:千円		事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		2,178		1,687			491
達成状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沢田子ども教室 火・木曜日 14時45分～15時35分 28名 全57回実施</li> <li>・野木沢子ども教室 火・水曜日 15時10分～16時10分 38名 全53回実施</li> </ul> ※子ども教室関係者による打合せ会議 2回開催(4月・12月)					
事業の評価【Check】							
区分		評価及び説明・考察					
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価	・放課後の子どもたちに、安全・安心な居場所を提供するとともに、ペットボトルロケットや野菜作りなど、様々な体験の場を提供することができた。 ・異学年の子ども同士や地域の方々など、幅広い年齢層との多様な交流機会を設けることができた。特に、両校とも地元のお年寄りの皆さんと一緒に、野菜作りを体験できたことは有意義であった。				
		A					
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	沢田小の1～3年生は、ほぼ全員登録している。				
		<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり					
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	地域のの方々に活動指導員として、交通費程度の謝金で活動していただいている。経費は、最低限なので縮減する余地はないと思われる。 長寿会の方が時間のあるときに畑の手入れや草刈をしている。子ども教室の時間だけでまかなえない分をボランティア対応し、子どもたちの活動をサポートしてくれている。					
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		活動指導員などの新たなボランティア人材の確保。					

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(1)生涯学習の推進 (2)社会教育の充実
中項目	(1)-①生涯学習の振興と充実 (2)-①社会教育の推進と充実

		担当係等	生涯学習係
<b>事業名</b>	生涯学習推進事業、社会教育推進事業		
<b>事業の目標と見込まれる成果【Plan】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治センター等で行っている生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上に努める。</li> <li>・現代的な課題、青少年や一般成人など世代に応じた各種教室・講座等を開設する。参加者が集り、自主運営サークルとしての活動へと移ることが狙い。</li> </ul>		
<b>実施内容【Do】</b>	地域の実情に即し、各自治センターで取り組んでいる各種教室(生涯学習講座)への講師派遣や助言、または資料の提供など。 青少年を対象とした「ぼくもわたしもチャレンジャー」、成人を対象とした「生き生きライフ講座」、自主サークル化を目指した成人講座、小学生を対象にした講座を開設し、それぞれに応じた多様なメニューを採り入れて実施する。		
<b>事業費(財源内訳)</b> ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金
	81		81
<b>達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の内容に応じた講師の選定及び派遣等への助言、生涯学習に関連する資料提供など</li> <li>・ぼくもわたしもチャレンジャー(実施回数7回 教室生26名、延べ123名)                          勾玉づくり、角田市との交流(鮎物採取、はやぶさ祭り)、入水鍾乳洞探検、ペットボトルロケット飛ばし、ピザ作り教室、料理教室(豚汁うどん・カップケーキ)</li> <li>・生き生きライフ講座(実施回数4回 教室生21名、延べ38名)                          ランプシェード作り、ハーバリウム作り、クリスマスカード作り、健康教室</li> <li>・成人向け講座【男のヨガ】(実施回数6回、教室生12名、延べ47名)</li> <li>・町内小学生を対象にした事業                          ①ペットボトルロケット飛ばし(1～3年生対象、参加者21名)、②親子で楽しむクッキング(全学年と保護者対象、参加者6組18名)、③クリスマスケーキ作り(全学年対象、参加者12名)</li> </ul>		
<b>事業の評価【Check】</b>			
<b>区分</b>		<b>評価及び説明・考察</b>	
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価 <b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男のヨガ」は、事業終了後、自主サークルとして活動するようになった。</li> <li>・「ぼくもわたしもチャレンジャー」「生き生きライフ講座」は、台風19号により開催できない回があったり、教室生が参加できない等の影響があった。</li> <li>・新規事業として、町内小学生を対象とした事業を3回行った。</li> </ul>
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座については今年度拡充したことにより新たなニーズが生まれてきている。</li> <li>・各自治センターからの支援要請は、減少してきている。</li> </ul>
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業数を増やしつつ、講師を公民館スタッフが務めることにより経費を抑えることができた。</li> <li>・文教福祉複合施設の各部屋及び屋外施設の特徴を生かした講座の実施が可能となった。</li> </ul>
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な生涯学習及び社会教育のニーズに応えていくためには、行政機関だけでなく、民間との協働による事業の展開が必要である。</li> <li>・新規事業を行う際、同じ参加者が多く、新しい参加者の呼び込みが難しい。年代層を踏まえて開催時間や曜日の設定、広報の強化等を図る必要がある。</li> </ul>	

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(4)文化の振興と文化遺産・鉱物の保存・活用
中項目	文化財の保護・活用と愛護思想の高揚

		担当係等	文化振興係			
<b>事業名</b>	埋蔵文化財出前体験学習事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	歴史の学習や故郷の歴史を理解するため、埋蔵文化財出前体験学習事業を小中学校や一般成人を対象に行い、郷土教育や文化財保護の啓蒙を図る。					
実施内容【Do】	小中学校については3コース(①出前授業、②連携(職員・先生)、③史跡・文化財見学解説支援)、一般成人向けについては2コース(①自治センター等にて出前講座等の支援、②史跡・文化財見学解説支援)を開設。					
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	0					
達成状況	<p>①小中学校向け事業(要請回数:6回 のべ人数:190人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回: 4月19日 野木沢小6年生 18人 内容:石器体験</li> <li>・第2回: 4月22日 玉川一小6年生 50人 内容:町内文化財巡り</li> <li>・第3回: 6月18日 沢田小4年生 17人 内容:町内文化財巡り</li> <li>・第4回: 11月1日 玉川一小6年生 41人 内容:町内文化財巡り</li> <li>・第5回: 11月14日 須釜小6年生 23人 内容:町内文化財巡り</li> <li>・第6回: 11月20日 古殿小6年生 41人 内容:町内文化財巡り</li> </ul> <p>②まち歴寺子屋(町史学習会) 開催回数8回 教室生22人</p>					
<b>事業の評価【Check】</b>						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	・小中学校向け事業においては、町域の文化財を案内することで、歴史学習やふるさと教育の一助となった。 ・本町の歴史を基礎的な部分からわかりやすく学ぶ機会を設け、ふるさとを見直し、ふるさとへの愛着と誇りを養う契機となった。			
		<b>B</b>				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	・小中学校向け事業では、町外の小学校からの要請があった。 ・一般成人向け事業では、鈴木重謙屋敷が開設されたことにより、今後ニーズが増えることが予想される。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	小中学生向け事業において、事業実施前に担当教員と打合せを行い、どのような点を重点に説明すべきか等の確認を行った上で、事業に取り組んでいる。また、学校の急な要請に対しても対応できるよう努めている。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		中学校からの要請がなかったため、授業の一助として先生方との連携を深めていくなどの改善が必要である。				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(6)スポーツの振興
中項目	①スポーツの推進

		担当係等	スポーツ振興係			
事業名	スポーツ振興事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	健康でいきいきと生活できるよう、町民がスポーツに親しめる環境づくりに努め、生涯スポーツの振興を図る。					
実施内容【Do】	①スポーツ推進委員の研修会の実施 ②学校体育施設開放の実施 ③第11回石川さくらロードレース大会の開催 ④第13回市町村対抗福島県軟式野球大会の参加 ⑤第6回市町村対抗福島県ソフトボール大会の参加 ⑥第31回市町村対抗ふくしま駅伝への参加					
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,209				2,000	4,209
達成状況	①スポーツ推進委員の研修会の実施(ニュースポーツ研修会) ②学校体育施設開放の実施 年間利用者数12,760人 ③第11回石川さくらロードレース大会の開催 平成31年4月13日(土) 会場-今出川周辺 小1から一般 581人が参加 ④第13回市町村対抗福島県軟式野球大会への参加 令和元年9月7日(土)~ 会場-県内各野球場 3回戦進出 ⑤第6回市町村対抗福島県ソフトボール大会への参加 令和元年10月12日(土)~(台風19号のため中止) ⑥第31回市町村対抗ふくしま駅伝 令和元年11月17日(日) 総合6位 町の部1位					
<b>事業の評価【Check】</b>						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	<b>評価</b>	・さくらロードレース大会で、町民にスポーツに親しむ機会を提供した。 ・学校体育施設の開放など町民にスポーツができる場を提供した。 ・市町村対抗の各種大会への参加し、町民のスポーツへの関心を高めることができた。			
		<b>B</b>				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	町民ニーズを把握しながら、スポーツ人口の拡大に努める必要がある。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	事業の実施時期や関係団体と連携し、より効率的な事業の執行が図れるよう検討する必要がある。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		体育施設利用の拡大のための方策や、スポーツをしていない子供に興味を持ってもらうような取組の検討。				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(6)スポーツの振興
中項目	①スポーツの推進

		担当係等	スポーツ振興係			
事業名	社会体育施設の維持・管理					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	町民に良好なスポーツ活動の場を提供する。					
実施内容【Do】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町体育施設の維持管理</li> <li>・各体育施設・設備の改修及び修繕</li> </ul>					
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,851				1,831	80,020
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合運動公園案内板設置工事 505千円</li> <li>・多目的広場倉庫塗装工事 827千円</li> <li>・総合体育館洋式トイレ設置工事 990千円</li> <li>・総合体育館非常灯交換工事 660千円</li> <li>・温水プール天井板改修工事 15,944千円</li> <li>・温水プール天井板改修工事設計管理委託料 1,744千円</li> <li>・温水プールエアコン設置工事 1,297千円</li> <li>・町体育館消防設備改修工事 477千円</li> <li>・武道館洋式トイレ設置工事 990千円</li> </ul>					
事業の評価【Check】						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価	体育施設を活用してもらうため、改修工事や修繕を行い利用促進を図った。			
		B				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	各施設の老朽化が進んでおり、計画的に対応して行くことが必要である。			
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	管理体制の見直しや、施設の長寿命化を図る必要がある。			
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		総合体育館が築28年、温水プールが築23年、石川町武道館が築34年など各施設の老朽化が進んでいる。計画的な施設の改修が必要となっている。また、利用者の利便性、点在する施設が多くある中、維持管理の体制整備を検討し、効率的維持管理ができるようにしていく必要がある。				

## 令和2年度教育委員会点検・評価表(令和元年度事業実施状況)

大項目	(4)文化の振興と文化遺産・鉱物の保存・活用
中項目	③ 鉱物の展示と活用

担当係等	歴史民俗資料館
------	---------

事業名	歴史民俗資料館運営事業					
事業の目標と見込まれる成果【Plan】	日本三大鉱物産地に数えられる石川町に関わる鉱物標本を常設展示し、町民の理解を深めるとともに、歴史民俗資料の展示により、先人の生活と町の歴史を概観できる環境を整える。 また、それらを達成するために、鉱物や歴史民俗資料の収集や調査研究を進める。					
実施内容【Do】	(1)展示事業… 常設展示(岩石鉱物、歴史民俗資料等)、企画展示 (2)歴史民俗資料・鉱物資料等の整理保管 (3)鉱物・鉱山関連調査整備事業 (4)教育普及事業					
事業費(財源内訳) ※単位:千円	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,024					8,024
達成状況	(1)展示事業 ①入館者数… 1,684人(町内393人、県内749人、県外542人) ②企画展… 「ベリウムの華 魅惑の緑柱石・金緑石展」 期間 9/10～11/4日 入場者数 338人 (2)歴史民俗資料・鉱物資料整理保管 ①文献資料… 町関係3,799点、個人寄託1,894点、所蔵1,156、合計6,849点 ②鉱物岩石標本… 1,850点(県指定天然記念物含む) (3)鉱物・鉱山関連調査整備事業 ①鉱物保護収集委員会… 鉱物・岩石の収集、旧鉱山跡の調査等を実施 ②和久観音山鉱山の公開… 石川鉱石採掘保存会に委託(案内者185人) (4)教育普及事業 ①教育支援… 受入者402人(小学生351人、中学生0人、高校生57人、大学等47人) (5)古文書寺子屋全13回 27名					
事業の評価【Check】						
区分		評価及び説明・考察				
有効性 (達成度)	目標に対し、期待した成果は得られたか	評価	展示事業等については、施設的な制限がある中、概ね目標は達成しているが、その他事業については、一部改善の余地はあると考えている。			
		B				
必要性	事業のニーズに変化はあるか(事業実施後のニーズの変化は)	■ 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	石川町歴史文化基本構想に基づく事業であるので、本構想の目的「町の文化財の継承とまちづくりへの活用」達成を目指している。	
効率性	事業執行にあたって効率性を高める余地はないか(経費、人員、作業時間等の縮減など)	■ 余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり	歴史民俗資料館の実施事業から見ると、人員・経費等については、削減できる余地はない。		
評価を踏まえた事業の課題及び今後の対応方針【Action】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉱物館を含む計画的な施設整備が必要な時期となっている。</li> <li>・ 町内文化財の掘り起こしや将来への町文化財の継承等のため、町民理解と人材育成が必要である。</li> </ul>				

## Ⅶ 石川町教育委員会評価委員会の意見

### 1 教育委員会活動

- ・ 教育行政の最高組織として定例会等のもとより、現場の実態把握及び教師並びに保護者の意見を聴取する機会を可能な限り増やしてほしい。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大前であるので、通常通り委員会活動ができたと思う。
- ・ 大変よく活動していると思う。学校視察等について、年1回位は、小中学校4校全て行ってもいいのではないかと。全員でなく分担してでもいいので。

### 2 通学援助事業

- ・ 児童生徒の通学手段として削減の余地はないが、多額の財源を要することから検討委員会の開催等により運行ルート等のニーズ把握に努め、効率的な運行に努めてほしい。
- ・ 小中学校統合後は、遠距離通学の生徒に対しスクールバスを運行しているが、事故等もなく順調に推移している。
- ・ 学校行事や天候状況などに合わせて、細かくよく対応していると思う。事業費等の問題もあると思うが、今後も利用者にやさしい活動をしていただきたい。

### 3 学校施設・学習環境整備事業

- ・ 統合後の学校教育施設が着実に充実していることは評価でき、引き続き老朽施設、設備について計画的な修繕を進めてほしい。
- ・ 近年の夏の異常な暑さに学校現場にはエアコンは必須であり、整備が完了となるのは素晴らしいことである。また、石川小学校の校庭の降雨時の改善も実施されており、教育環境の改善がなされている。
- ・ 今年度についても限られた予算の中でよくやっていると思う。説明で防災拠点としての整備もしていくとあったが、無駄が出ないように他の施設と連携を図りながら行ってほしい。

### 4 石川中学校調理場建設事業

- ・ 運用開始ができ良かったと思う。
- ・ 最新の調理場施設であるが、安全な給食提供には、調理員の技量が何より大切であると思う。
- ・ 無事給食の提供ができるようになってよかったと思う。今後、運用していく上で様々な問題が出ると思うが、生徒が楽しみにしている給食のため、対応をよろしく願いたい。

## 5 学力向上推進事業

- ・ 各種研修会等による教師の縦横の繋がりで本町の学力向上が標準化されることが望ましく、そのための日々の意識の高さや努力に感謝したい。
- ・ 新型コロナウイルスによる休校前までの評価であるので、概ね達成できていると感じる。
- ・ 学力向上に対する先生方の活動には敬意を表する。今後もよろしくお願ひしたい。
- ・ 新型コロナウイルス、自然災害、少子化等社会情勢がより激しくより早く変化すると思われる。学力向上においてもその変化への対応が求められる。柔軟な対応をお願ひしたい。

## 6 幼保小中間交流学習事業、いしかわふるさと教育事業

- ・ 事案について、その都度教育機関が連携等することは評価できるが、保護者がワンストップで相談でき継続的な支援が受けられる窓口的なものがあれば良いのではないかな。
- ・ ふるさとを知り学ぶことは、必ず生きてくるので、どんな形でも継続してほしい。
- ・ 概ね達成できていると感じる。
- ・ 不安をできるだけ解消し、安心して教育を受けられるために、この交流事業は素晴らしい事業だと思う。関係者が増えると調整も大変だと思うが、続けてもらいたい。
- ・ 「わたしたちの石川町」は素晴らしい教材だと思う。更なる活用を望む。「石川のかるた」も使ってほしい。

## 7 学習環境の整備充実、ICT機器の活用

- ・ 大いに必要性を感じる半面、ハード整備よりも専門的な指導スキルが求められる分野なことから、民間人の活用等も含め検討してほしい。
- ・ 現在、この項目の達成と整備が、早急に必要とされている。
- ・ 昨年と同様、両事業とも限られた予算・人材の中でよくやられていると思う。ICT支援員の配置も評価する。昨年も申し上げたが、プロだけでなくICT支援ボランティアも募集してはどうか。

## 8 英語教育の推進

- ・ 今以上に指導助手の活用を柔軟に検討してほしい。
- ・ 順調に推移していると思われる。
- ・ 事業評価の必要性の項目にあった通りだと思う。更なる事業の推進を望む。週1日位で、「主に英語・従に日本語デー」を作ってはどうか。

## 9 学校給食費補助事業

- ・ 全額ではなく半額補助を継続してほしい。
- ・ 児童数が急激に減少している中で、若い世代の定住推進の観点からも、石川町では、子供を育てるために、各種補助が充実しているということは、素晴らしいと思う。
- ・ 予算的に厳しいこともあろうが、今後も事業を続けてもらいたい。



## 10 図書室管理運営事業

- ・ 蔵書冊数や来館者数も増えてきたので、来館者の希望する本を探し易いシステムができるとういと思う。
- ・ 今後も読み聞かせを続けてほしいと思う。
- ・ 町民が気軽に行ける施設であることの PR 等、広報活動を拡大してはどうか。
- ・ 図書館への中学生・高校生の来館が増えたことは喜ばしいことである。学生や保護者にとって安心して勉強・読書できる場所があるというのはありがたいことだと思う。広いジャンルの本や雑誌が置いてあり、ゆっくり読書を楽しめ、スタッフの方々の対応もよい。

## 11 放課後子ども教室事業

- ・ 今後も活動指導員の確保ができ、子供たちが体験したい内容を増やすことができればよいと思う。
- ・ 共働きが増える中で、時間の延長はできないか。また、活動員の確保をどうするか。
- ・ 地域の大人の方々と様々な体験を通じ、家庭や学校とも違う楽しく有意義な時間を過ごせる機会は貴重だと思う。ボランティアの方々の高齢化が進み、心配な部分もあるが、できる範囲で得意分野で子供たちと関わってもらいたいと思う。

## 12 生涯学習推進事業、社会教育推進事業

- ・ 事業終了後、自主サークルとして活動するような団体が増えることを希望する。
- ・ 自主的な活動ができるように主催者が活動を決定するだけでなく、自主活動を計画してみてもどうか。
- ・ 「男のヨガ」をはじめ、地域事業で新しい興味や趣味を広げられることは、素晴らしいことだと思う。今後も無理のないよう教室や講座を進めていただけると嬉しい。

## 13 埋蔵文化財出前体験学習事業

- ・ 小学校での歴史学習やふるさと教育の一助になったことは評価できる。今後は、中学校からの要請がくるような取組を進めてほしいと思う。
- ・ 行政機関等や学校等に写真入りポスターを作成し、文化財に興味をもってもらうなど、広報活動を拡大してもらいたい。
- ・ 生まれ育った地の歴史を知ることは、石川町を誇りに思うことにつながると思う。

#### 14 スポーツ振興事業

- ・ 親子で参加できるさくらロードレース大会の他にも、三世代でも参加できるスポーツ企画があればよいと思う。健康いきいき体操の流れでできるスポーツ企画はどうか。
- ・ 多忙な時間を過ごす今日の中で、町民がいつでも気軽に参加しやすい時間帯なども工夫し、話題になる大会などを企画してはどうか。
- ・ スポーツが苦手・不得意な子供たちも楽しめるような、興味を持てるような事業や体制があるとよい。

#### 15 社会体育施設の維持・管理

- ・ 町所有の施設全てにおいて、老朽化が問題である。その中でも、町民プール天井改修工事が終了できたことで、利用者も増加するのではないか。
- ・ 総合運動公園のステージなどがあった場所で、コンサートなどが開催できるとよいと思う。
- ・ クリスタルパーク周辺の環境整備が必要だと思う。
- ・ 施設の老朽化が進む中、一度に多くの方々が集ま場所でもあるので、何より安全が優先だと思う。事業費がかかることも必要経費だと思う。

#### 16 歴史民俗資料館運営事業

- ・ 資料館の場所が分かりにくいのも、運営に影響しているのではないか。鈴木重謙屋敷やモトガッコへ移動されてはどうか。
- ・ 南町にある鈴木重謙屋敷やモトガッコなどの施設と同じ場所があれば、もっと町民が見て学ぶ場所になるのではないか。現在の場所は、あまりよい場所とは思わない。
- ・ 何となく民族資料館は入りづらいイメージがある。防犯上難しいかもしれないが、モトガッコの2階に展示してもらえると、石川中学校の生徒や保護者、公民館・図書館利用者も立ち寄り易い気がする。

## VIII 資料

### 石川町教育委員会評価委員会設置要綱

#### (設置及び目的)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定に基づき、同条第1項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、石川町教育委員会評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

#### (所掌事務)

第2条 委員は、石川町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の求めに応じ点検及び評価を行うに当たり、意見を述べるものとする。

#### (組織)

第3条 評価委員会は、評価委員7人以内で組織する。

2 評価委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。

3 評価委員の任期は、教育委員会が委嘱した日から2年とする。ただし、補欠の評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 評価委員は、再任することができる。

#### (委員長)

第4条 評価委員会に評価委員長を置き、評価委員の互選によってこれを定める。

2 評価委員長は、会務を総理する。

3 評価委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する評価委員がその職務を代理する。

#### (会議)

第5条 評価委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

#### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育課総務係において行う。

#### (委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成21年3月1日から施行する。

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

(関係法令)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）【抜粋】

(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定に関わらず、次の事務を教育長に委任することができない。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
- (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
- (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (5) 次条の規定による点検及び評価に関すること。
- (6) 第二十七条及び第二十九条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、教育委員会規則で定めることにより、第一項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

4 教育長は、第一項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

(教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

石川町教育委員会の点検・評価（令和元年度施策・事業）について  
「御意見をお寄せください」

お寄せいただいた御意見につきましては、今後の施策・事業等の推進にあたっての参考にさせていただきます。

なお、定められた書式はありません。

(参考書式)

点検評価項目（ ） について

※ 御住所

※ お名前

※御住所、お名前があれば、教育委員会の考えをお伝えできる場合もございます。

ご意見は、いずれかの方法でお寄せください。

(FAX) 0247-26-1638

(郵便) 〒963-7893 石川町字長久保185番地の4 石川町教育委員会 宛

(E-mail) kyouiku@town.ishikawa.fukushima.jp